

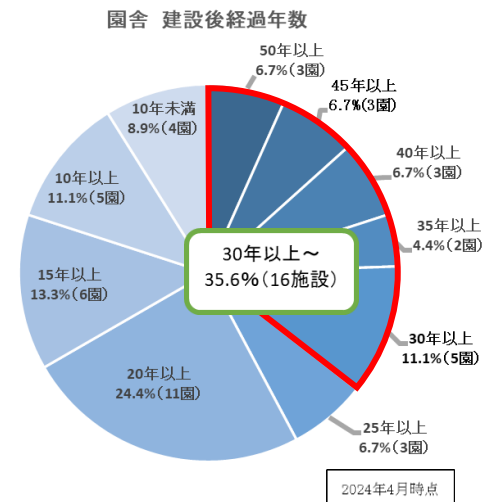
保育施設の機能向上及び老朽化対応支援計画の策定について

1 目的

町田市は、老朽化等した保育施設に対して、施設整備を通じて機能を向上させることで、施設の違いがもたらす子どもへの影響を低減させ、質の高い保育を提供することを目的として、「保育施設の機能向上及び老朽化対応支援計画」を策定します。

2 民間保育所や認定こども園の老朽状況

- ・園舎を自己所有している民間保育所のうち、16 施設（35.6%）が開設から 30 年経過しており、現在の多様な子育て支援への対応が難しい状況です。
- ・2030 年代には、2000 年代に整備した民間保育所（18 施設）の老朽化が進む見込みです。
- ・乳児の受入れがある認定こども園のうち 2039 年度までに施設の耐用年数を満了する施設はありません。



3 支援計画の概要

老朽化した施設の対応と機能向上を促すための改築支援を行う補助事業を創設し、今後に残すべき施設について、2026 年度から 2039 年度にかけて、各年度 1 施設程度（全 13 施設）、改築支援を行います。

（1）整備費の補助金の主な交付条件

- ・2037 年時点で築年数が一定期間以上経過する施設（鉄筋コンクリート造 47 年、鉄骨造 34 年、木造 22 年）又は「老朽民間児童福祉施設等の整備について（令和 5 年 8 月 22 日付こ成事第 431 号こども家庭庁育成局長通知）」に該当する施設であること
- ・補助金交付を受ける施設の所在地が 2040 年以降も保育ニーズ量に対して確保量の不足が見込まれる地域であること

（2）改築支援における 1 園あたりの補助金交付額（参考例：2023 年度基準・定員 71～100 名）

- ・国の就学前教育・保育施設整備交付金を活用し、全体の建築工事などのうち、補助金は最大で 2 億 1,634 万 2 千円を交付します。

※町田市の補助金負担額は、最大で 7,211 万 4 千円です（補助金交付額に対する負担割合は国 2/3、市 1/3）。

4 主なスケジュール

年月	実施内容
2024 年 9 月 9 日	保育施設事業者向け説明会
9 月下旬～10 月中旬	支援計画の策定
10 月下旬～11 月下旬	事業者向け意向調査アンケート・個別ヒアリング等の実施
2025 年 6 月頃	2026～2027 年度整備（改築）事業者の公募開始
10 月～11 月頃	整備（改築）事業者の選考及び決定